

1 , 国連特別報告官「イスラエルのパレスチナ不法占領は植民地主義」

国連の人権委員会や特別報告官が、不法な軍事占領の継続と固定化は許されないと国連総会にあいついで報告している。

2 , J・サリバン「バイデン政権の国家安全保障戦略」

10月発表の国家安全保障戦略報告をとりまとめた米大統領補佐官（安保担当）が発表に際して行ったスピーチ。米政権がどのようなレトリックでみずからの覇権戦略を正当化しているか、また中枢のパワーエリートがどのようなメンタリティで世界情勢をみているかがわかる。

3 , デボラ・ヴェニツァーレ「誰が米国を戦争に導くのか」

三大陸誌「米国と新冷戦、その社会主義的評価」の第二論文。米国の外交政策を左右するシンクタンクや研究所に集まる集団が新冷戦にむけてどのような活動をしているか、背景にある経済界の動向とともに詳しく分析している。

4 , M・フェルナンデス「ラテンアメリカはなぜ新世界秩序が必要か」

前回に続く「非同盟と平和の展望」シリーズ。ラテンアメリカとともにインドとキューバからの論考も併せて掲載。「新世界秩序でインドが果たす重要な役割」と「非同盟、平和と社会主義のキューバ外交政策」。

5 , ノーラ・G・ニベス「岐路にたつヨーロッパ」

スペイン在住の女性ジャーナリストが、ウクライナ戦争であらわになったEU（欧州連合）の矛盾と欺瞞をすどく告発している。

6 , ジャック・ポー「米英が外交を拒否する理由」

「米国と英国が、ロシア・ウクライナ戦争を終わらせる可能性のあった和平協定を台無しにした」。元スイス情報局員で NATO 顧問のジャック・ボア (JACQUES BAUD) がインタビューで、その疑惑について語る。

7 , 大村哲「大西広『ウクライナ戦争と分断される世界』を読む」